

2017年度 パルシステム神奈川ゆめコープ 市民活動応援プログラム 市民活動支援金助成団体一覧

支援団体数：18 団体

支援金総額：400万円

パルシステム神奈川ゆめコープは、豊かで元気な地域社会をつかっていくため、地域の市民活動を応援しています。
2017年度市民活動応援プログラム市民活動支援金に応募いただいた64団体のうち、18団体に支援金助成を決定しました。

(順不同)

No	団体名 所在地 ホームページ	■主な活動分野 ■団体紹介	支援金額	支援金使途
1	サンタの家 横浜市港南区 ホームページあり	■子どもの健全育成 ■サンタの家の願い。 1) 食事の提供のみならず、遊びや勉強の場も提供し、子どもたちに自分の居場所と感じてもらおう。食事を必要とする子どもたちのみならず、子ども食堂に来るすべての子どもたちに心からの笑顔になってもらうこと。 2) 「支援を必要とする地域の人たちへの総合的生活支援空間」を実現する事業展開を行いたい。	16万円	旬の食材を取り入れて、子どもたちに暖かくて栄養のバランスの取れた食事を提供します。
2	#つながる朝顔プロジェクト 藤沢市 ホームページあり	■子どもの健全育成 ■「起立性調節障害」は、思春期の子どもに多い病気で、親が努力しても、子どもは朝起きられません。「#つながる朝顔プロジェクト」と検索してください。つらい朝に、母親たちが花と向き合う時間をもっていることを発信しています。私たちは、病氣と闘う家庭が採取した種を配ります。いっしょに希望の花を咲かせてください。	7万5千円	病気の子どもの存在を知ってもらい、必要な社会的支援を受けることができるようにしたいです。
3	humhum 横浜市戸塚区 ホームページあり	■子どもの健全育成 ■未就園児親子を中心にワークショップを開催し、活動のあとはスタッフ手作りの昼食をみんなで食べて、スイーツとお茶で交流の時間をもっています。多世代交流の場として「ひだまりひろば」も開催。地域の方と未就園児親子が交流する場もつくっています。	15万円	昼食用の炊飯器、食器や調理器具の購入。アートフェスティバルなど地域イベントの実現に活用したい。
4	フードバンクひらつか 平塚市 ホームページあり	■子どもの健全育成 ■まだ食べられる食品が企業や各家庭から捨てられるなか、食べるものがなく困っている方もいます。そのもったいない食品を寄付していただき、母子家庭や支援が必要な方に無償で提供しています。その結果、子どもの成長の手助けや栄養面の強化につながり、最終的には自立支援につながることを目的として、活動を行っています。	30万円	倉庫を借りる費用に使わせていただき、よりたくさんの方の物資の受け入れを可能にしていきたいです
5	NPO法人 未来経験プロジェクト 平塚市	■子どもの健全育成 ■子どもたちの職業体験・農業体験を行っています。子どもたちが遊びながら社会の仕組みを学び、地域の企業や商店、学校などさまざまな立場の人が専門性をいかして協力しています。これが、地域の魅力を再発見する機会となり、地域への愛着と絆が育まれています。また余剰野菜は、子ども食堂やフードバンクに提供しています。	30万円	現在実施していない地域での職業・農業体験の実施。子ども食堂や学習支援など。子どもの居場所づくり。
6	3.11 つなぐっペシ 逗子市 ホームページあり	■東日本大震災被災者支援 ■中高生のボランティアグループとして、学生ならではの自由で自主的な活動を積極的に行い、被災地支援と防災意識向上を発信しています。全国高校生マイプロジェクトアワード2015で全国総合1位(文部科学大臣賞)をいただきました。被災地から学んだことを地元にかす活動を、自らが考え実践し続けています。	30万円	東日本大震災より7年目の平成30年3月11日に、中学生高校生のボランティアアバスタアを行いました。
7	福島子ども ・こらっせ神奈川 横浜市磯子区	■東日本大震災被災者支援 ■将来、国による「移動教室」のモデルを作ろうと、福島県檜葉町・神奈川県山北町と連携して、同じ学校・地域の子どものみでの参加で夏にキャンプを実施。事務局は、子どもの世話する大学生の「こらっせユース」と世代を超え協働し、福島・山北の子ども、大学生、双方向の地域交流も実現している。	30万円	7年目を迎え、財政的に厳しくなっていくなかで、支援金を活用してリフレッシュプログラムを実現させたい。
8	福島の親子とともに ・平塚 平塚市 ホームページあり	■東日本大震災被災者支援 ■神奈川県の私たちや子どもたちも放射能汚染と無縁ではありません。「お金よりいのちが大事」「未来において誰もが安心して生活できる社会にするためにはどうしたらよいか」などをともに考え、放射能汚染から子どもたちを守る社会の実現をめざしていきましょう！	30万円	放射能の影響で外遊びできない福島の親子のリフレッシュと「福かな裁判」などの避難家族の支援を実現する。

No	団体名 所在地 ホームページ	■主な活動分野 ■団体紹介	支援金額	支援金使途
9	福島の子もたちとともに・湘南の会 藤沢市 ホームページあり	■東日本大震災被災者支援 ■福島原発事故後、福島県内の放射能汚染を気にしながら生活している子どもたちとその保護者にたいし保養活動をしている。湘南の海や緑の多い地で、思いっきり遊び、駆け回ることができるように、3歳から小学生までの子どもたちと保護者を受け入れてリフレッシュできるよう工夫している。医療生協での健康相談も実施している。	30万円	子どもたち同士、親たち同士がつながり、情報交換や悩みをうちあけることができるようになること。
10	小田原録音奉仕会 小田原市	■福祉 ■小田原市広報をはじめとする市刊行物、市販されている図書、会独自の雑誌など多面的情報を音声化し、CD・テープを媒体として、視覚障がい者に提供しているボランティア団体です。	27万5千円	デジタル化にともなう機器の充実をはかることにより、より良い録音資料を提供したい。
11	特定非営利活動法人 フードバンク横浜 横浜市神奈川区 ホームページあり	■福祉 ■フードバンク活動として、個人や施設、子ども食堂やひとり親家庭に食料の支援を行っています。また、東京都八王子にある無料子ども塾に通う生徒5名に、奨学金のかわりにお米5kgを奨学金米として毎月提供しています。	25万円	奨学金米を15名に送りたい。田奈高校や横浜総合高校などと連携し、生活が厳しい家庭に、米を毎月5kg送りたい。
12	要約筆記と手話 ひまわり会 座間市	■福祉 ■聴覚障がい者の言葉である「手話」を取り入れた手話ダンスをとおして、孤立しがちな聴覚障がい者が、地域や一般市民の方と積極的につながる活動です。小学校、障がい者施設、介護施設、地域の行事などへの出演機会が増え、各方面から評価をいただき、聴覚障がい者への理解普及を図っています。	22万円	手話ダンス指導資格をもつ外部講師の指導のもと、技術習得に努めている。手話ダンスの魅力を伝えたい。
13	甲状腺工コー検診 神奈川の会 横浜市 ホームページあり	■医療・健康 ■私たちは、医師、スタッフ、全員ボランティアの無償活動です。打ち合せも県施設の無料スペースを使用し、検診会場としてお借りする病院なども院長の好意で無償にいただいています。3年間で、放射線内部被曝問題をすべてのスタッフが共有、検診実施の意義を確認しあい、協力医師、技師、スタッフを増やしてきました。	27万5千円	多くの子どもが受診できるように自己負担金を補填。活動継続のため、機器減価償却、研修費用にしたい。
14	多言語版おくすり手帳 普及プロジェクト 横浜市西区 ホームページあり	■医療・健康 ■神奈川県には、外国人が約18万6千人住んでいますが、文化や習慣、言葉の壁から必要とする生活情報を手に入れることが困難な人も多のが現状です。このような課題解決のため、医療と防災に視点をおいた多言語版おくすり手帳を作成します。また、外国人が手帳を気軽に手に入れられるよう、普及活動を推進していきます。	10万円	多言語版おくすり手帳の作成と普及をすすめ、外国人も安心してくらするまちづくりをめざします
15	IDEA education 座間市 ホームページあり	■生涯学習・社会学習 ■不登校の根本解決とコミュニティ教育の実践をめざしています。教科学習・メンタルサポートに加えて、団体主催「ふぁみりーフェス」(地域の親子向けイベント・前回参加者約700名)でのブース出店など、社会体験プログラムを多く取り入れています。地域の方とかかわり合いながら、社会的自立をめざした教育を探求しています。	15万円	不登校の子どもやその家族が安心して過ごせる居場所、スタッフや地域の方との関係を深められる場の開設。
16	神奈川区国際協力 ネットワーク 横浜市神奈川区 ホームページあり	■国際交流 ■学習支援は7年目を迎えます。毎年、年度始めと夏休み前に全区内小学校に募集チラシを配布し、学校をとおして応募があります。子どもたちはいきいきと元気に教室に通ってきます。子どもたちの手助けをしたい支援者とともに、楽しみながら活動しています。私たちは、子どもたちの安心できる居場所となることを望んでいます。	10万円	学習支援をとおして、地域の中で外国につながる人々が生活しやすい環境づくりをしたいと考えています。
17	女性防災クラブ 平塚パワーズ 平塚市 ホームページあり	■防災・地域安全 ■女性防災クラブ平塚パワーズは、女性の視点に立って減災に関する知識、技術の向上を目的として活動しています。「自分の命を守り、家族を守り、そして地域を守ろう」を基本に、各地域の防災訓練や各種イベントへ参加し身近な物でつくる減災グッズの作り方の普及や応急手当等のさまざまな減災まちづくり活動を行っています。	30万円	「防災減災パワーズブック」の増刷および点字版と音声ガイドの発行(100部)多言語版 A3:8P(1000部)の発行
18	多世代多国籍の地域交流 拠点カサコプロジェクト 横浜市西区 ホームページあり	■まちづくり ■カサコは多世代多国籍の地域交流拠点として2016年4月にオープンしました。地域の方による当番制のカフェや国際交流系のイベント、海外からのホームステイ受け入れをしています。世代や属性間でつながりのなかった地域活動のハブとして、異なる価値観・文化を受容し合い、人と人が出会うことのできる場所をめざしています。	14万5千円	情報発信力と施設の安全・快適性を高めることにより、交流やつながりを深めたい。